

1. 事業報告書

(1) 概況

当年度は延岡総合文化センター及び野口記念館の第3期目となる指定管理者（契約期間は平成28年度から32年度までの5年間）に指定されました。

平成28年度の延岡総合文化センターの年間入場者数は、148,281人（前年度比39,045人減）、開館以来の総入場者数は、平成29年3月末現在で6,704,840人に達しています。

また、野口記念館の年間入場者数は、34,346人（前年度比193人増）でした。年間入場者合計で182,627人の入場者となりました。

各施設の稼働率は、延岡総合文化センターがホール76%（大ホール52%、小ホール63%）、練習室89%、展示室69%、会議室関係90%で、概ね高い利用率を保持しています。一方、野口記念館の稼働率は36%（前年度比3%増）となっています。

施設の利用料金収入は、延岡総合文化センターが32,702,115円（前年度比2,106,479円減）、野口記念館が4,830,177円（前年度比109,681円増）でした。全体では37,532,292円（前年度比1,996,798円減）となりました。減額の要因としては、前年が例年に比べ際立って地区大会等での全館使用の催しや各市民団体の周年事業で多く利用されたことが要因と思われます。

(2) 施設の管理について

施設の管理については、施設全般にわたって専門業者による保守点検を定期的を実施するなど万全を期しております。耐用年数に達した機器の取替工事、安全や快適さをもたらす補修・改修工事等も、計画的に進めているところです。

今年度は大ホールの吊物機構の更新工事や駐車場陥没個所の舗装工事を延岡市の予算で実施しました。さらに蒸気配管補修及び減圧弁取替え、交流室と野口記念館楽屋の空調機取替えなど様々な環境整備を実施しました。

(3) 自主文化事業について

招聘型公演10本、住民参加型公演8本の18事業を実施しました。招聘型の事業の中で、「宝くじふるさとワクワク劇場」では北浦町海岸地区神楽保存会の紹介や吉本新喜劇メンバーとの共演コーナー、また「ORANGE RANGEコンサート」で地元高校吹奏楽部生とのコラボレーション、さらに「谷村新司コンサート」では児童合唱団との共演を設けるなど、地元も何らかの形で参加し、客席と一体となって楽しめる企画を実施しました。

また、低料金の良質なクラシックコンサートシリーズ”音楽の散歩道”2本、市民の芸術活動を支援する”パフォーマ延岡”シリーズ3本も好評を博しました。

住民参加型としては、地元で活動している演劇関係者の協力を得て、演劇の手法を通してのコミュニケーション作りやいろいろな表現方法を学んでもらうアウトリーチ活動を名水小学校で行いました。今後も多くの住民が参加できる事業の企画を続けていく計画です。

自主文化事業の全体的な決算としましては2,378,307円のマイナスとなりましたが、他の予算の流用と自主文化事業積立金の取り崩しで対処いたしました。

そのほか、育成事業として、「のべおか「第九」を歌う会」、「延岡フィルハーモニー管弦楽団」、「シニア劇団のべおか笑銀座」、「ひむかオペラの会」の4団体に助成し、運営上様々な面で支援を行ないました。

今後とも、自主文化事業の企画・実施に当たっては、地域の文化団体などとの連携をとり、より質の高いものを提供できるよう職員一同鋭意努力してまいりたいと思います。